

# 平成23年度定時役員会議案書



日 時 平成23年4月24日(日)  
午前10時～12時

場 所 ゆずり葉コミュニティルーム

## ～ 議 事 ～

報告第1号	平成22年度活動報告	1～4頁
報告第2号	平成22年度会計・監査報告	5～6頁
議案第1号	平成23年度役員選任(案)	7～8頁
議案第2号	平成23年度事業計画(案)	9～10頁
議案第3号	平成23年度会計予算(案)	11頁

## 参 考 資 料 :

★ 平成23年度議決点数表	} ……12頁
「役員会」の年間日程表	
「ゆずり葉だより」の配布年間日程表	
★ まちづくり計画実施(協議・要望)書	……13頁
★ 会 則	……14～16頁
★ 会則改正の基本方針	……17頁
★ 地域のまちづくり協議会のイメージ	} ……18頁
「ゆずり葉コミュニティ」組織図	



逆瀬台小学校区まちづくり協議会  
「ゆずり葉コミュニティ」

# 報告第1号 平成22年度活動報告

## 全体活動事業

(1) 定時役員会は、総会に代わるものであり、4/25(日)、19名役員全員（他に非議決権者9名）の出席により開催し、平成21年度活動報告と会計決算・監査報告を行い、満場一致で承認した。続いて平成22年度の役員選任・委員選出および事業計画と会計予算の審議を行い、満場一致で承認した。

### (2) 会議の開催

- ① 定時役員会（総会）：1回/年、28人（非議決権者9名を含む）/年
- ② 役員会：5回/年、延141人/年
- ③ 3役会中心の会議：25回/年、延95人/年
- ④ 広報委員会議：22回/年、延126人/年
- ⑤ 経理委員会議：10回/年、延23人/年
- ⑥ ゆずり葉まつり、運動会など活動支援の会議：7回/年、延224人/年
- ⑦ 福祉ネットワーク会議：1回/年、30人（構成する14団体代表者）/年
- ⑧ ホームページ作成スタッフ会議：10回/年、延24人/年

★★ 合計開催回数(延)：81回/年（前年度比：95%）

合計出席者数(延)：691人/年（前年度比：106%）

（但し、活動局活動委員の地区会議は含まない）。

### (3) 他市からの研修会受入

全国的に地方分権が進む中、7/17(土)、西脇市日野地区人権教育協議会・自治会・地区住民の代表者36名の来訪を受け、ゆずり葉散策路の視察、地域課題検討の研修交流会を行った。

(4) 「団塊世代」に対するボランティアや地域デビューを育む「学びの場」として宝塚市「団塊塾（づか塾）」がある。その塾生の2名が23/1/23(日)、「ゆずり葉散策路整備活動」で実体験を行った。

(5) 「ゆずり葉まつり」が10/23(土)に開催され、家庭・地域・学校が一体となった事業を行った。「山下雄平さんのライブ」、「翼の和太鼓演奏」、爪や身体に装飾するアートの「ネイルアート、ボディーペインティング」など例年のメニューに新しい試みを取り入れ好評だった。

(6) 逆瀬台小学校の運動会が9/25(土)に行われ「ラケットにボールのせ競技」に参加した。

(7) 第2ブロック地域別懇談会「都市計画マスタープラン」の見直しに23/3/12(土)、会長、事務局長、活動局長、特命部長、青葉台自治会長の5名による全地域の代表者が参加。

(8) 「宝塚市まちづくり協議会代表者交流会」が、4/14(水)、6/22(火)、8/3(火)、10/19(火)、11/22(月)、23/2/2(水)、23/3/9(水)、に開催され事務局長、特命部

長が出席した。

(9) 「逆瀬台小学校区まちづくり計画」を見直し、7/30(金)、宝塚市に提出した。

(10) 10/3(日)、役員会の席上、宝塚市教育委員会から「適正規模による校区再編成」の提案があったが、11/20(土)、これを撤回する旨の文書を受取った。

(11) 宝塚市から逆瀬台1丁目県道沿いの市有地に、賃貸によるコンビニの新設提案があった。

8/18(水)、10/3(日)、10/20(水)、23/1/11(火)、23/2/28(月)、に行政と協議した。当該地は、既に児童から高齢者までが、ふれあえる複合施設の新設計画を、まちづくり計画として提案しており、これを留保しながら協議を継続中である。

参照：別紙13頁「まちづくり計画実施（協議・要望）書」

## 事務局活動事業

### 広報委員

第5次宝塚市総合計画が決定し、その中心課題として地域自治の実現がある。そのための組織づくりとして、情宣活動が非常に大切となってきた。情報の受・発信に努め住民にオープンな情報の伝達を図った。

① 広報紙の発行：年4回、B4版4面、従来通りカラー印刷で行った。

② 広報紙の配布は、年度当初に1年間の配布日時を設定し、校区を網羅する7自治会長、7マンション理事長又は担当者がコミュニティルームで引き取り、全戸配布した。

また、外部配布は、行政関係、小・中・高の各学校、中央図書館、エデンの園、てくてく、せいれい逆瀬台サービスセンター、希望する市議員等に配布した。

③ ホームページ・ネット掲示板・ブログによるインターネットの有効活用を推進し、レンタルサーバーにより会議資料、活動報告など、動画やPDF形式による文書を多量に、スピーディに配信を行った。

④ ゆずり葉まつりや逆瀬台小学校運動会で音響ボランティアが器材持参で担当した。

### 書記委員

役員会のレジュメ資料は、会議開催日の20日前に作成し役員19名と委員20名に配布した。レジュメや議事録は紙ベースとともにインターネットで情報公開すると同時にデータストックしている。

### 経理委員

支払の請求があれば、出納は書類を検証して迅速・正確に行った。補助金の申請と報告書は、行政マニュアルに従って、説明責任が果たせるよう作成・提出した。

## 施設委員

活動拠点「ゆずり葉コミュニティルーム」の利用状況は、延 825時間／年（前年度比：105%）、延 309回／年（前年度比：109%）であった。

利用時間帯として午前中は比較的空きになっているので有効活用を図っていく。

## 活動局活動支援事業

### (1) 地域交流事業

- ① 8マンション管理組合で構成する「白瀬川両岸集合住宅協議会」は、毎月第3日曜日に代議員が集まりコミュニケーション会議を行った。
- ② シネマシアター上映会は、毎月数箇所の屋内会場や野外映画会を行い、映画を通して親睦を図った。
- ③ 自治会や老人会、福祉委員などが桜祭り、夜桜の集い、盆踊大会、夏祭り、納涼花火会、文化祭、音楽会、展覧会、絵画展、お茶会、もちつき、秋穫祭など活発な事業を行い、住民の親睦、連帯意識の醸成と文化の高いまちづくりを形成した。
- ④ 自治会でバスツアーを行っているが、マンション群では9/29(水)、「平城遷都1300年祭」と23/3/17(木)、「黒潮市場と湯浅の町並み視察」を各バス2台で実施した。

### (2) 子どもの健全育成・三世代交流事業

- ① 子ども・親・高齢者の異世代ふれあいを通して連帯意識を醸成する。小学生入学・卒業の歓送迎会、クリスマス会、里山ハイキング&バーベキュー、芋ほり、遊ぼう会など野外で三世代のふれあい事業を実施した。
- ② 大型紙芝居・人形劇や秋の文化祭・児童コーラス、夏休み児童学習会の基礎英会話、ソロバン、宿題の指導などを子どもたちに教え健全育成を図った。
- ③ 子どもたちが歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する態度を育て、豊かな人間性を涵養するために平成17年度から毎月活動して「伝統文化いけばな子ども教室」を進展させた。
- ④ ペットボトルのキャップを集めて「世界の発展途上国の子どもたち」にワクチンを贈る運動の「エコキャップ運動」を活性化させた。

### (3) 防災・防犯推進事業

当校区は、35%超の宝塚一番の高齢化率となった。安全で快適なまちづくりに住民の防災意識の高揚と自主的な防災、防犯運動を展開した。育成会児童の見守り同伴下校のボランティア

参加の呼びかけ実施。児童の登下校時に時間を合わせての散歩や植木の手入れなど児童の見守り活動を行った。

#### **(4) 環境美化推進事業**

- ① 「まちをきれいに」を合言葉に公園や川の清掃活動を行って自然を保護し、ミヤマアカネトンボやホタルを育て、その観賞路を整備した。
- ② 「花と緑の会」の活動は、各单位自治会や管理組合で活発に行われた。

#### **(5) ゆずり葉散策路整備事業**

- ① 平成 10 年から始まった整備事業を継続して、裏山の豊かな自然を活かした身近な場所に四季折々の緑と花があり、高齢者・子ども家族揃ってできる健康づくりの散策路があればと願っている。その整備を行い、裏山の自然を観察し、健康ハイキングのためのコースを開拓して、そのルート整備を行った。
- ② 行者山東観峰登頂ハイキングを毎週日曜日の午前に実施した。

#### **(6) 健康・福祉ネットワーク事業**

- ① 健康で安心して住み慣れた地域で暮らし続け、健やかで、やすらぎに満ちた暮らしと生涯にわたる健康づくりを推進した。ハイキング、卓球、太極拳、健康リズム体操、健康教養講座・健康教室の出前講座などを活発に行った。
- ② 高齢者の認知症、その予防と健康の維持増進に講習会と啓発を行った。マンション群では、福祉活動及び災害時の救助活動に役立てる「エンディングノート(緊急対応ノート)」を作成し全世帯に配布した。
- ③ 高齢者の見守りや閉じこもり予防・介護予防事業として、敬老の日お祝い訪問、ふれあい喫茶、健康カラオケサロン、歌唱クラブ、ウクレレの会、手芸サークル、マージャン同好会、などを実施して健康づくり・福祉ネットワーク事業を活性化した。
- ④ 兵庫県民会館で、スポーツクラブ21ひょうご「全県クラブサミット」が開催され、宝塚市24のクラブを代表して参加した。
- ⑤ マンション群では催事にたいするドア to ドアの移動手段を実施した。参議院選挙の「巡回バス」往復路運行とNHK夏期巡回ラジオ体操をカーボランティアで助成した。

#### **(7) マンション群で「食の安全事業」として直販を実施**

当地は、超高齢化が進むなか商店街もなく急坂の多いベッタタウンであって、「無農薬・旬の野菜を岡山県津山上垣農園」、「田舎豆腐・くるくる豆腐」、「お菓子・宝塚けやきの里」の直販を継続、地域コミュニティ形成に向けて盛況。地域づくりを高める多彩な取り組みを展開している。

# 報告第2号 平成22年度会計・監査報告

## 平成22年度 会計収支決算書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

### 収入の部

単位：円

項 目	予 算 額	実 績 額	摘 要
前年度繰越金	91,166	91,166	平成21年度からの繰越金
市の補助金 (1)	386,000	386,000	補助金交付要綱第5条1・2・3号
市の補助金 (2)	170,000	170,000	4号・域内秋季文化・技能祭イベント活性化事業
福祉コミュニティ支援事業	176,000	176,000	宝塚市社会福祉協議会の助成金
ふれあいいきいきサロン支援事業	80,000	80,000	「ゆずり葉シニアサロン」継続助成金
年未年始地域ささえ愛事業	30,000	—	
協 賛 金	110,000	109,660	7自治会、7管理組合、エデンの園
広 告 収 入	120,000	110,000	「ゆずり葉だより」広告料
雑 収 入	100	75	利息
合 計	1,163,266	1,122,901	

### 支出の部

項 目	予 算 額	実 績 額	摘 要
活 動 費	170,000	161,306	組織運営、地域課題事業
広報紙・ホームページ事業費	415,000	406,291	広報紙年4回発行
市の補助金(2) 第5条4号	170,000	170,244	域内秋季文化・技能祭イベント活性化事業
福祉コミュニティ支援事業	176,000	178,000	宝塚市社会福祉協議会の助成金
ふれあいいきいきサロン支援事業	80,000	80,731	同上・ゆずり葉シニアサロン継続助成金
年未年始地域ささえ愛事業	30,000	—	
会議室等使用料	2,000	2,100	コミュニティルーム使用料
プリント・コピー・文具代	50,000	50,290	
予 備 費	70,266	—	
小 計	1,163,266	1,048,962	
次年度繰越金	—	73,939	
合 計	1,163,266	1,122,901	

平成22年度の収支決算について、以上のとおり報告します。

平成23年3月31日

経理委員 西 澤 芳 正



上記会計報告について、監査の結果適正であったことを認めます。

平成23年4月1日

監査役員 田 麦 典 房



# 特別会計

## 1. 拠点施設運営協力積立金特別会計

拠点施設運営協力積立金	21年度残高	収 入	支 出	残 高
22年度	430,672	82,612	8,960	504,324

※ 利息を含む

平成22年度の収支決算について、以上のとおり報告します。

平成23年3月31日 施設委員 結 城 光 代 (印)

上記会計報告について、監査の結果適正であったことを認めます。

平成23年4月1日 監査役員 田 麦 典 房 (印)

## 2. 県民交流広場事業特別会計

県民交流広場事業	21年度残高	収 入	支 出	残 高
22年度	6,573	350,017	356,590	0

※ 利息を含む

平成22年度の収支決算について、以上のとおり報告します。

平成23年3月31日 専任経理委員 道 之 前 匡 嗣 (印)

上記会計報告について、監査の結果適正であったことを認めます。

平成23年4月1日 監査役員 田 麦 典 房 (印)

参考：

### ◆ 福祉コミュニティ支援事業支出明細

(1) 桜まつり	50,000 円
(2) ゆずりは文化教室(水彩画他)	30,000
(3) カラオケサロンのメンテナンス	30,000
(4) ハイキングコース標識設置	30,000
(5) 伝統文化いけばな子ども教室	20,000
(6) 福祉事業その他2件	18,000
(合 計)	178,000

### ◆ 県民交流広場事業支出明細

(1) 夏祭りテーブルレンタル	100,000 円
(2) ジャズライブ	35,150
(3) 里山ハイキング&バーベキュー	31,995
(4) 秋 穫 祭	31,256
(5) シネマシアタークラブ	30,000
(6) 夏休み児童学習会	27,520
(7) 白瀬川両岸集合住宅情宣活動	15,000
(8) 白瀬川の自然を守る環境活動	10,000
(9) ゆずり葉まつり和太鼓演奏「翼」	10,000
(10) 健康体操書籍	5,635
(11) 福祉事業広報活動(会報・ニュース)	60,034
(合 計)	356,590

議案第1号 平成23年度役員を選任

◆ 平成23年度役員名簿 (案) ◆

氏名	住所	電話	所属
小松 純			逆瀬台自治会
井篁 暉雄			//
徳高 宗雄			光ガ丘自治会
黄地 幸昌			//
斉藤 省子			阪急青葉台自治会
五十嵐 英一			//
前岡 竜一			宝梅園団地自治会
千秋 良雄			逆瀬川マンション自治会
大和 久美子			ゆずり葉台自治会
中村 一雄			逆瀬台2丁目自治会
松本 一彦			阪急逆瀬台アヴェルデ管理組合
岸本 健一			//
吉山 芙貴子			団地管理組合法人逆瀬川グリーンハイツ
鬼頭 勝			//
本田 昌治			逆瀬川パークマンション管理組合
室崎 千冬			逆瀬台住宅管理組合
藤田 和正			宝塚西山住宅管理組合
石谷 清明			阪急逆瀬台マンション管理組合
那須 誠一			シャンティー逆瀬川管理組合

◆ 平成23年度3役名簿 (案) ◆

役職	氏名	住所	電話	所属
会長	徳高 宗雄			光ガ丘自治会
事務局長	井篁 暉雄			逆瀬台自治会
活動局長	千秋 良雄			逆瀬川マンション自治会



◆ 平成23年度監査役員名簿（案） ◆

役 職	氏 名	住 所	電 話	所 属
監査役員	田 麦 典 房			逆瀬台自治会

◆ 平成23年度事務局委員名簿（案） ◆

役 職	氏 名	住 所	電 話	所 属
広報委員	江 畑 幸 代			光ガ丘自治会
〃	中 山 資 博			阪急青葉台自治会
書記委員				
経理委員	西 澤 芳 正			光ガ丘自治会
施設委員	中 村 一 雄			逆瀬台2丁目自治会

◆ 平成23年度活動局委員名簿（案） ◆

役 職	氏 名	住 所	電 話	所 属
活動委員	岩 井 友 久			光ガ丘自治会
〃	内 田 佑 子			阪急逆瀬台マンション
〃	鬼 頭 勝			逆瀬川グリーンハイツ
〃	國 司 恒 雄			逆瀬川マンション自治会
〃	小 松 純			逆瀬台自治会
〃	阪 尻 千 恵 子			阪急逆瀬台マンション
〃	清 水 妙 子			阪急逆瀬台アヴェルデ
〃	千 秋 良 雄			逆瀬川マンション自治会
〃	前 田 淑 子			逆瀬台自治会
〃	道 之 前 匡 嗣			光ガ丘自治会

\*\* 氏名：五十音順

## 議案第2号 平成23年度事業計画（案）

### 全体活動事業

設立から17年目を迎える当会は、他団体との連携と協働の強化とりわけ域内における「スポーツクラブ21ゆずり葉」、「逆瀬台小学校PTA」、「民生委員・児童委員」などと多様化した協働の場を拓ける。7自治会・7管理組合を中核とした役員会の議決機関と執行機関である事務局、活動局による2局体制を効果的に機能させ、地域コミュニティの創造的形を推進していく。

(1) 平成23年4月24（日）に総会にかわる「平成23年度定時役員会」を開催する。

役員会は、奇数月に3役による役員会資料の作成と配布、偶数月の第1日曜日午前10時から役員会の開催を基本とする。（参考資料12頁の年間日程表を参照）。

(2) 平成22年の4月14日（水）を始めとして11月22日（月）に行われた市長との懇談会を含めて7回開催された「まちづくり協議会代表者交流会」は、今年度も継続して開催される予定である。今後は会長が出席する。

(3) 「まちづくり連絡会議」は各まちづくり協議会単位でまち協と行政とが共同で開催する。会議への出席者は、まち協側も行政側もあらかじめ設定されたテーマに応じて必要な人員を選任する。

(4) 宝塚市から提案された逆瀬台1丁目市有地の「コンビニへの賃貸問題」については、行政との交渉を重ね、地域まちづくり計画に沿った早期解決を図るよう努力する。

(5) 阪神北県民局や光ガ丘中学校などで秋に実施される子育て、福祉、防犯、地域活性化等様々な分野における地域活動団体の発表の場において、日頃の活動についてパネル展示を行う。

(6) ゆずり葉まつりは、秋祭りとして「逆瀬台小学校ゆずりは会」を後援し、前年度なみを行う。

(7) 逆瀬台小学校運動会に地域の一部代表として参加する。

(8) 7マンション管理組合への宝塚市自治会連合会への加入促進策。

全国的に地方分権が進む中、自治会結成と宝塚市自治会連合会への加入促進について、宝塚市と宝塚市自治会連合会による説明会が開催されれば参加する。

(9) 第5次宝塚市総合計画「まちづくり地域計画」は、単なる計画に終わらせないためにフォロー体制を強化する。

### 事務局活動事業

#### (1) 広報委員

地域自治を担う組織づくりは、情宣活動が非常に大切である。情報の受・発信に努め住民にオープンな情報の伝達を図る。

① 広報紙の発行：年4回、B4版4面、カラー印刷で行う。

参考資料12頁の年間日程表によりCルームで各団体に広報紙を配布する。

② ホームページの更新：<http://yzrh.exblog.jp/>

HP 掲示板の更新：<http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs>

ブログの更新：<http://www.hnpo.comsapo.net/yuzuriha/>

③ Eメール：[yuzuriha.c@a.zaq.jp](mailto:yuzuriha.c@a.zaq.jp)

## **(2) 書記委員**

役員会の議事録を速やかに作成する。併せてブログは、紙ベースと違い情報量の制限もなく、多量でスピーディに配信出来る。アップデートして情報のオープン化と資料保存の確保を行う。

## **(3) 経理業務**

出納・収支管理の他、予算管理や補助金等の資金調達活動も行う。

## **(4) 施設業務**

コミュニティルーム等の運営業務を行い使用日の受付、使用料の徴収、鍵の管理等行う。

# **活動局活動支援事業**

## **(1) 地域交流事業**

- ① 自治会や老人会、福祉委員など活発な事業を行い、文化の高いまちづくりを形成する。
- ② 「白瀬川両岸集合住宅協議会」は毎月代議員が集まりコミュニケーション会議を行う。

## **(2) 子どもの健全育成・三世代交流事業**

子ども・親・高齢者の異世代ふれあいを通して連帯意識を醸成する。野外で三世代のふれあい事業を実施し、子どもたちの健全育成を図る。

## **(3) 防災・防犯推進事業**

災害の未然防止に防災訓練の参加や防災意識の高揚を図る。

児童の登校時、下校時に時間を合わせての散歩や植木の手入れなど児童の見守りを行う。

## **(4) 環境美化推進事業**

「まちをきれいに」を合言葉に公園や川のクリーンハイキング、清掃活動を行う。

## **(5) ゆずり葉散策路整備事業**

平成10年から始まった整備事業を継続して、豊かな自然を活かした身近な場所に四季折々の緑と花があり、高齢者・子ども家族揃って出来る「健康づくりの散策路整備」を行う。

## **(6) 健康福祉ネットワーク事業**

高齢者福祉、子育て支援、特に一人暮らしの日常的な高齢者見守り活動や災害時の救助活動「災害時要援護者支援制度」、「安心生活創造事業制度」の取り組みと健康福祉ネットワーク事業を活性化する。

## **(7) マンション群で「食の安全事業」として直販活動を深化させる**

超高齢化が進むなか、商店街もなく急坂の多いベッタタウンであり食の安全に直販を拡充し、地域コミュニティ形成に向けて多彩な取り組みを展開していく。

# 議案第3号 平成23年度会計予算(案)

## 平成23年度 会計収支予算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

### 収入の部

単位：円

項 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	73,939	平成22年度からの繰越
市の補助金(1)	386,000	補助金交付要綱第5条1・2・3号
市の補助金(2)	170,000	補助金交付要綱第5条4号
社協の助成金(1)	177,000	福祉コミュニティ支援事業ステップアップ活動
社協の助成金(2)	30,000	ふれあいいきいきサロン「ゆずり葉シニアサロン」
社協の助成金(3)	30,000	年末年始地域ささえ愛事業
協 賛 金	110,000	@30円/戸
広 告 収 入	100,000	「ゆずり葉だより」広告料
雑 収 入	100	利息
合 計	1,077,039	

### 支出の部

項 目	金 額	摘 要
活 動 費	160,000	組織運営、地域課題事業
広報紙・ホームページ事業費	405,000	広報紙年4回発行
市の補助金(2)	170,000	補助金交付要綱第5条4号
社協の助成金(1)	177,000	福祉コミュニティ支援事業ステップアップ活動
社協の助成金(2)	30,000	ふれあいいきいきサロン「ゆずり葉シニアサロン」
社協の助成金(3)	30,000	年末年始地域ささえ愛事業
会議室等使用料	2,000	コミュニティルーム使用料他
プリント・コピー・文具代	30,000	
予 備 費	73,039	
合 計	1,077,039	

### 特 別 会 計

#### 拠点施設運営協力積立金特別会計

拠点施設運営協力金	22年度残高	収 入	支 出	残 高
23年度	504,324	80,000	9,000	575,324

◆ 別表Ⅱ（第6条関係） 平成23年度議決点数表

自治会及びマンション管理組合	総戸数 / 議決点数
逆瀬台自治会	775 / 770
光ガ丘自治会	454 / 450
阪急青葉台自治会	325 / 320
宝梅園団地自治会	171 / 170
逆瀬川マンション自治会	166 / 160
ゆずり葉台自治会	101 / 100
逆瀬台2丁目自治会	80 / 80
阪急逆瀬台アヴェルデ管理組合	453 / 450
団地管理組合法人逆瀬川グリーンハイツ	314 / 310
逆瀬川パークマンション管理組合	150 / 150
逆瀬台住宅管理組合	120 / 120
宝塚西山住宅管理組合	100 / 100
阪急逆瀬台マンション管理組合	83 / 80
シャンティー逆瀬川管理組合	48 / 40
合 計	3,340 / 3,300

◆ 「役員会」の年間日程表

場 所： ゆずり葉コミュニティルーム

定時役員会	平成23年4月24日（日）	10:00~12:00	（総会に替わる）
6月度役員会	// 6月 5日（日）	10:00~12:00	
8月度役員会	// 8月 7日（日）	10:00~12:00	
10月度役員会	// 10月 2日（日）	10:00~12:00	
12月度役員会	// 12月 4日（日）	10:00~12:00	
2月度役員会	平成24年2月 5日（日）	10:00~12:00	
定時役員会	// 4月29日（日）	10:00~12:00	（総会に替わる）

◆ 「ゆずり葉だより」の配布年間日程表

下記日時に「ゆずり葉コミュニティルーム」において、各自治会・管理組合の担当者が引取りをお願いします。

平成23年6月26日（日）	10:00~11:00
// 9月25日（日）	10:00~11:00
// 12月25日（日）	10:00~11:00
平成24年3月25日（日）	10:00~11:00

## まちづくり計画実施(協議・要望)書

宝塚市長 中川 智子 様  
( 企画経営部 部 市民協働推進課 )

逆瀬台小学校区まちづくり協議会

貴職におかれましては平素より当まちづくり活動にご支援を賜りありがとうございます。  
さて、標記の件についてですが、下記の通り(協議・要望)いたしますので、末尾記載の回答  
要望項目についてご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

## 記

- 1 協議会名 逆瀬台小学校区まちづくり協議会      ブロック番号 2      まち協番号 8  
2 まちづくり計画施策番号 No 15  
3 施策内容 ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり<市有地(空地)に児童から高  
齢者までが、ふれあえる複合施設の新設やのびのびと遊べる広場の整備>  
4 主体別 行政  
5 実施場所 宝塚市逆瀬台1丁目      地区コード 3151

## 6 現状の問題点

逆瀬台1丁目市有地を業者へ土地賃貸する『コンビニエンスストアの新設計画』に関して、  
当会3役に8月18日行政から口頭提案があった。これについて当会は、地域のまちづくり  
計画の提案を簡単に反故にし民意を軽視するこの案に賛成できるものではない。【反対理  
由】①周辺の住民は特別にコンビニエンスストアの必要性を感じていない。②利便性はある  
が、沿道を通る車にとっての利便性であり、地域住民にとっては大した利益にならない  
(無くて生活には全く支障は無い)③隣にガソリンスタンドもあり、車の出入りが頻繁になっ  
て渋滞や交通上の危険性と騒音問題で周辺住民に生活上の悪影響を及ぼす。④深夜営  
業による防犯上の不安、治安の悪化が懸念される。⑤若者同士(周辺に2つの高校)の集  
合地になって争いが無いとは限らない。⑥コンビニエンスストア絡みでの事件が多くなり逆  
瀬台の街のグレードが落ちる。

## 7 施策概要

本会が行った平成15年12月に『地域ごとのまちづくり計画』の提案式において施策を提  
案し、その後行政との計画推進会議などでフォローしながら平成18年7月第2ブロック地域  
創造会議で施策の実行を要請したが、宝塚市の財政状況からすぐには実行するのは困難で  
長期計画として把握している。

## 8 協議・要望事項

10年間放置されている市有地を有効活用することは、財政面で寄与することであり当然  
賛同するが、コンビニエンスストアの誘致は適切でなく反対である。あくまでも地域の利益と  
住民に役立つ計画にすべきであり、『本会の提案事項』を留保しながら実施すべきと考えま  
す。それには【代替案】の例として、①市民農園の開設(市民の癒しの場になり、エコにも役  
立つ)。スペースは充分にあり、勿論有料で開放する。野菜などの販売も可能(参考: 野上  
の貸し農園 18,000円/1区画=約2坪)抽選方式で倍率は高く需要は充分にある。空地が  
約700坪あれば駐車場や通路などを、とって200区画の活用可能。②グラウンド・ゴル  
フ、ゲートボールなど、生涯スポーツ事業の一つとして考えレクリエーション・スポーツ、ファミ  
リー・スポーツさらには、児童や高齢者スポーツとして推進できる、だれでもが自由に手軽  
に楽しめるグランドにする。

## 9 実施予定時期

## 10 担当部会名

役員会

## 11 担当者名

会長 中村一雄

連絡先 電話 0797-77-2051

e-mail

m@yuzuriha-c.web7.jp

## 12 添付資料

 位置図     概略図     写真     その他資料

\* 回答要望項目 ① 処理方針 ② 実施日 ③ 完了予定時期 ④ 担当者 ⑤ 連絡先 ⑥ その他

会長	事務局長	活動局長	書記
(印)	(印)	(印)	(印)

## 逆瀬台小学校区まちづくり協議会会則

(名 称)

第1条 本会は、「逆瀬台小学校区まちづくり協議会」と称し、通称を「ゆずり葉コミュニティ」と云う。

(会 員)

第2条 本会の会員は、逆瀬台小学校区に居住する住民とする。

(事務所)

第3条 本会の事務所は、逆瀬台小学校北館「ゆずり葉コミュニティルーム準備室」内に置く。

(目的と活動)

第4条 地域住民参加による地域文化の創造・生涯学習・健康福祉の増進・自然保護・生活環境の向上等を目的とする地域活動を支援し、住民相互の交流を図ると共に「健康で心豊かな生活、住みよいまちづくり」を目指して活動する。

(役 員)

第5条

- 1 役員は、別表Ⅰのとおり選任する。
- 2 役員の任期は4月1日から翌年3月31日までの1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 役員に欠員が生じたときは、速やかに役員を選任し、就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

(役員会)

第6条

- 1 役員会は役員で構成し、必要のつど開催して、次の事項を審議し決定する。
  - ① 会則の制定及び改廃に関すること。
  - ② 会長、事務局長、活動局長及び監査役員並びに委員の選任に関すること。
  - ③ 事業報告及び決算報告に関すること。
  - ④ 事業計画及び予算に関すること。
  - ⑤ 逆瀬台小学校区における「まちづくり」に関すること。
  - ⑥ その他本会の運営に関すること。
- 2 役員会は、会長が招集し、構成員の半数以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。
- 3 役員会の議事は、全員の合意による決定を原則とし、全員の合意に至らないときは、別表Ⅱの議決点数により賛否を決する。
- 4 年度当初（4月）の役員会は定時役員会とし、1項②号、③号及び④号は必定議案とし審議決定する。

5 定時役員会の議案は、事務局長が会長、活動局長と協議して作成し提出する。  
ただし、事業報告書、決算報告書は、前年度の会長、事務局長、活動局長が作成し提出する。

6 役員会の議長は、会長がこれを行う。

(会長)

第7条 会長は本会を代表し会務を総括すると共に、対外業務を行う。

(事務局)

第8条

構成	員数	担当業務
事務局長	1名	事務局を総括し会長を補佐する。
広報委員	2名	広報紙の発行及びITの活用による情報・宣伝業務を行う。
書記委員	2名	書記業務及び庶務業務を行う。
経理委員	1名	経理業務を行う。
専任経理委員	—	必要に応じ、特定事業の経理業務を行う。
施設委員	1名	逆瀬台小学校及び逆瀬台サービスセンター内の本会の関係施設及び備品の管理業務を行う。

(活動局)

第9条

構成	員数	担当業務
活動局長	1名	活動局を総括し、会長を補佐する。域内個人・活動団体の登録申請の受付、審査及び許可業務並びに登録団体・個人との連携、調整、支援に係る業務を行う。
活動委員	10名以下	活動局長の補佐業務を行う。

(会計監査)

第10条

構成	員数	担当業務
監査役員	1名	経理処理の監査業務を行う。
監査委員	1名	監査役員の補佐業務を行う。

(活動資金)

第11条 本会の活動資金は、助成金・協賛金・事業活動による収益金等を充てる。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。

付 則

1 この会則は、平成20年4月1日から施行する。

2 「ゆずり葉コミュニティ会則」は、平成20年3月末日をもって廃止する。



別表Ⅰ（第5条関係）

自治会及びマンション管理組合	役員数(名)
逆瀬台自治会	2
光ガ丘自治会	2
阪急青葉台自治会	2
宝梅園団地自治会	1
逆瀬川マンション自治会	1
ゆずり葉台自治会	1
逆瀬台2丁目自治会	1
阪急逆瀬台アヴェルデ管理組合	2
団地管理組合法人逆瀬川グリーンハイツ	2
逆瀬川パークマンション管理組合	1
逆瀬台住宅管理組合	1
宝塚西山住宅管理組合	1
阪急逆瀬台マンション管理組合	1
シャンティー逆瀬川管理組合	1
合 計	19

備考 役員数は、301戸数以上2名、300戸数以下1名、の基準により算定する。

別表Ⅱ（第6条関係）

自治会及びマンション管理組合	総戸数 / 議決点数
逆瀬台自治会	/
光ガ丘自治会	/
阪急青葉台自治会	/
宝梅園団地自治会	/
逆瀬川マンション自治会	/
ゆずり葉台自治会	/
逆瀬台2丁目自治会	/
阪急逆瀬台アヴェルデ管理組合イツ	/
団地管理組合法人逆瀬川グリーンハ	/
逆瀬川パークマンション管理組合	/
逆瀬台住宅管理組合	/
宝塚西山住宅管理組合	/
阪急逆瀬台マンション管理組合	/
シャンティー逆瀬川管理組合	/
合 計	/

備考 1 議決点数は、該当地区の総戸数とし、毎年4月に至近の調査戸数を申告する。

2 10戸未満は切り下げとする。

## 逆瀬台小学校区まちづくり協議会会則改正の基本方針

- (1) 地方分権が進み「宝塚市の地域自治制度」を担える組織づくりに向けて議決機関は、単位自治会（単位マンション管理組合を含む）から選出した役員をもって構成する。
  - ①小学校区の広域になると議決の仕組みが大切で「代議員制度」の確立が重要となる。「逆瀬台小学校区自治会協議会」の充実が重要。
  - ②単位マンション管理組合は、財産管理が主目的であって自治会制度の組織化が必要である。このため宝塚市全体として「マンション自治会結成の促進」を図る。
    - ※ 具体的に平成19年12月2日(日)宝塚市役所において管理組合の理事長に対し説明会を開催した。
- (2) 議決機関は「役員会」と称する。
  - ①会則による「まちづくり協議会」を機能させるには、絵に描いた餅ではなく如何に組織を簡素化<sup>スリム</sup>するかである。
  - ②最高議決機関、常任評議会とか評議委員の用語はさげ住民誰でも分かる一般用語の「役員会」にして総会を含む議決機関としての会議体を一本化した。
  - ③会議体の議論は、過程（プロセス）が大切であり二重構造の組織は不要である。
  - ④組織の牽制制度は大切であるが、議決機関において実践活動の汗をかかない人達が議決だけの権利主張をされても、執行機関には十分な理解が得られない。
  - ⑤会長、事務局長、活動局長は、役員会のメンバーから選任する。

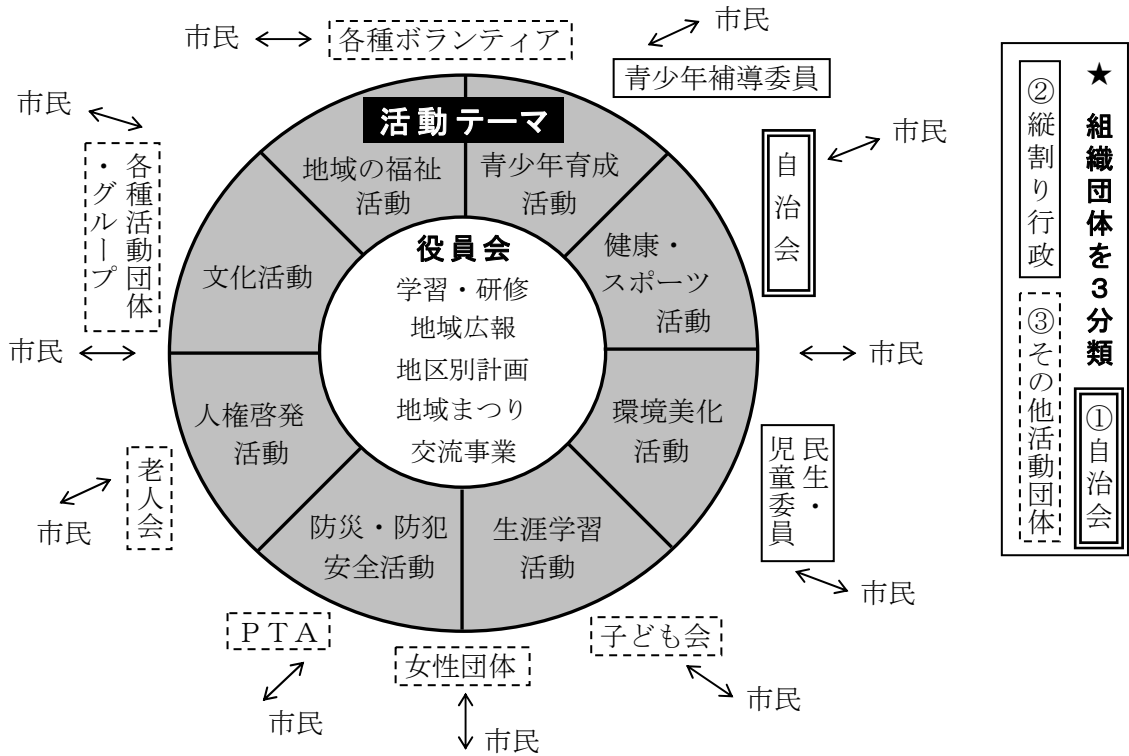
これは組織の一貫性及び議決と執行のスムーズな協働を図るためである。
- (3) 組織の柱
  - ①組織の柱が議決機関「役員会」及び執行機関の「事務局」と「活動局」になったことはシンプルで分かりやすく画期的発想である。
  - ②宝塚市は、「まちづくり基本条例」「市民参加条例」があるが、「宝塚市まちづくり協議会」に関する条例はない。現状として民生委員、防犯推進委員、青少年育成市民会議、健康づくり推進委員など多数の分野別による縦割り行政の地域活動を行っている。

この観点から活動局のボランティア組織の活動は、自律と参画による「個人・活動団体」を如何に支援するかにある。
  - ③会則改正は、住民の個人及び団体の提案権や活動権を基本にしており、ボランティア活動のより一層の活性化が図られている。ボランティア委員（部会長）は、主体的に部会を結成させ活動しやすい組織となった。
- (4) 議決に関して話し合いによる合意を基本とするが、全員の合意に至らないときは、全住民の公平性を期すため「議決点数」制度を設ける。これは画期的方策である。
- (5) 小学校区の地域づくりに大切なことは、「会則」の運用を上手くやることと広報紙やIT活用による「情報の受・発信」の充実それに「人材」確保、特に地域リーダーは人望・人格に優れボランティアのみんなが楽しくやれる一語につきる。

以 上

# 地域のまちづくり協議会のイメージ

\* 宝塚市発行「コミュニティの創造と発展」参照 \*



## 逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」組織図

- ◆ 自治会を中核(合意形成の確立)とした組織づくり、各種団体との相互補完・協働を図る。
- ◆ 位置づけ：最小行政単位(小学校区協議会の間で協議会連合会の組織をつくらない)。

### ◆ 組織の簡素化と機能化

